

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定対象漁業集落名：池間漁業集落

協定参加世帯数：27世帯（28人）

（うち漁業世帯数：27世帯（28人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、池間集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

種苗放流の取り組みでハマフエフキ、シラヒゲウニの放流を実施し、水産資源の維持・回復を図ることとした。また、食害生物等の駆除で漁業被害をもたらしているためサメの駆除を実施し、漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。



種苗放流（ハマフエフキ）



種苗放流（シラヒゲウニ）



食害生物等の駆除（サメ駆除 揚縄）



食害生物等の駆除（サメ駆除 陸揚げしたサメ）

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

新規養殖業への着業の取り組みでシャコガイ養殖を実施し、漁業収入の向上を図ることとした。今年度は、シャコガイ稚貝の追加投入等を実施した。



新規養殖業への着業（シャコガイ養殖 稚貝追加）



新規養殖業への着業（シャコガイ養殖 稚貝追加）

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 540 千円

漁業集落漁業就業者数 28 名

漁場の生産力の向上に関する取組においては、種苗放流の取り組みでハマフエフキを 763 尾、シラヒゲウニを 4,871 匹の放流を行い水産資源の維持・回復を図った、宮古島市におけるハマフエフキの水揚量は、平成 28 年が 2,318 キロ、平成 29 年が 2,261 キロ、平成 30 年が 3,021 キロとなっている。シラヒゲウニに関しては、依然として資源が少ないため放流数や場所の検討などを行い維持・回復に繋げていく必要がある。また、食害生物等の駆除の取り組みによるサメ駆除の実施により漁業被害の軽減及び安全操業の確保が図られた。

漁業の再生に関する実践的な取組については、以前から新規養殖業の着業の取り組みとしてシャコガイ養殖の着業に取り組んでおり、今年度はヒレジャコシャコガイ稚貝の追加投入を実施した。集落構成員の養殖技術の向上を行うとともに、出荷に向け取り組んでいく。